

2003年6月20日

カンヌ国際広告祭グランプリ50周年

博報堂、特別賞を受賞

～ 世界の広告会社で7社、アジアからは唯一 ～

6月19日、フランス・カンヌで開催されているカンヌ国際広告祭の50周年記念式典にて、博報堂が特別賞を受賞しましたのでお知らせ致します。これは、過去、最高賞であるグランプリを2つ以上獲得したディレクター、広告主、広告会社、そしてプロダクションに贈られるもので、受賞した世界の広告会社7社のうち、アジアからは唯一、博報堂が選ばれました。表彰式には、クリエイティブディレクターとして、日清食品カップヌードル“hungry?”の広告制作に携わった宮崎 晋(現：博報堂 取締役 常務執行役員)が登壇し、表彰状を受け取りました。

博報堂のグランプリ受賞対象は、下記の3篇です。

1982年フィルム部門グランプリ

松下電器産業<ナショナルのあかり>「光りのメニュー」篇

1993年フィルム部門グランプリ

日清食品<カップヌードル>「hungry? モア」篇・「hungry? シンテトケラス」篇

当日表彰を受けた宮崎 晋のコメントは以下のとおりです。

「<ふたつのスマイル>私が現役のアートディレクター時代に最も好きだったコマーシャルが松下電器の「光りのメニュー」でした。ひとつの工業製品が画面の真中でドラマを演じる美しさに広告の素晴らしさを学びました。そしてもうひとつのスマイルは自分が携わった仕事、日清食品の「ハングリー」が、グランプリを頂けたことです。このふたつの作品で再び表彰されたのを機に、もっと博報堂スマイルを増やせるよう、これからも挑戦しつづけたいと思います。カンヌ、ありがとう。」

グランプリ作品について：

松下電器産業<ナショナルのあかり>「光りのメニュー」篇

オレンジ、りんご、ぶどうなどの果物の皮をむくと、中から果肉ではなく電球が出てきます。この夢のようなアイデアと美しいイメージで、国内外で数々の賞を受賞したCFです。

<当時制作に関わった水原 弦(現：博報堂第四制作局シニアクリエイティブディレクター)のコメント>

この作品は商品を主役にして圧倒的な映像のアイデアで勝負する「プロダクトグラフィックス」と呼ばれるジャンルのはしりとなった広告です。電球の使命は明るいことだけではなく、夜見ても、みずみずしいものはよりみずみずしく見せる。そういう技術革新が続いているんだ、という得意先の話を聞いて、その商品であるあかり達が「みずみずしさ」の象徴である果物の中から手品のように現れたらどんなにキレイだろう！との思いつきからアイデアは生まれました。撮影はデジタル合成もない時代なので、すべて本物を使っての一発撮り。電球の熱で果物から湯気が出るまでの10秒ほどしか撮影できません。果物の旬に合わせて3日づつ、計3回の撮影をして完成しました。当時、このアイデアはもちろん、日本の職人芸の緻密さと撮影技術の高さで「世界で最も美しいコマーシャル」との評を受けました。

日清食品<カップヌードル>「hungry? モア」篇・「hungry? シンテトケラス」篇時代は、原始時代。広い大地を原始人の集団がモアやシンテトケラスといった獲物を追いかける姿がライブに描かれています。「hungry?」というキャッチフレーズとともに、国内外で話題を集めたCMです。

<当時制作に関わった石井 昌彦(現：博報堂第二制作局シニアクリエイティブディレクター)のコメント>
このCFシリーズが始まる前年に発売20周年を迎えていたスーパーロングセラーブランド、カップヌードル。その20年の間に日本の食生活は非常に豊かになり、食の選択肢も大幅に増え、いわゆる「飽食の時代」を迎えていました。その変化の中でカップヌードルの原点をもう一度見つめ直すこと、それがこの企画の出発点でした。おなががすいたら一番始めに思い出してもらえるブランドであり続けること。人間の食欲に一番近いブランドであり続けること。それには「おなががすいてる人はいませんか？」をいうメッセージを最高に空腹な状況に発信したらいいのではないかと考え生まれたのがこの表現です。原始時代を舞台にした人間と絶滅哺乳類の追っかけエンターテイメント、題して「食欲原始スペクタクル」。CGはまったく使わず動物はコマ撮りアニメーション、人間は実写で合成をしてオリジナルな世界観を作り出していきました。モアもシンテトケラスも実在した動物です。

尚、今回表彰された世界の広告会社7社は、下記のとおりです。

- * 博報堂
- * J・ウォルター・トンプソン
- * ヤング・アンド・ルビカム
- * ドイル・デイン・バーンバック
- * キャンベル・イウォルド
- * スティッグ・アーブマン
- * オグルビー&メイザー

<本件に関するお問い合わせ>

博報堂 広報室

宮川・平澤

tel 03-5446-6161

fax 03-5446-6166